

教職員規定違反 100人近く

川崎市立校 出退勤登録50日以上怠る

川崎市立学校で、服務規定に違反してICカードによる出退勤登録を50日以上も怠っている教職員が100人近くいることが19日、明らかにされた。この日の市議会一般質問で、三宅隆介議員（無所属）の質問に市が答弁した。この問題では10月、10日以上怠っている教職員が14人いることが明らかになったが、さらに現場のルーズさが露呈している。

市教委は、小中学校のほ

か、特別支援、市立高校の計175校約7000人の教職員について、2022年度の出退勤の状況を調査。その結果、50日以上も怠っている教職員は93人になり、100日以上登録していないケースも6人いた。最多では192日に及んだ。

教職員に服務規定を徹底させるべき管理職でも、50日以上怠っている例が31人もいた。

ICカードによる教職員

の出退勤登録は、市教育委員会職員服務規定で2019年4月から義務付けられている。徹底されない理由について、市教委は聞き取り調査を進めている。